

〇〇〇〇：追加・修正

⊖⊖⊖⊖：削除

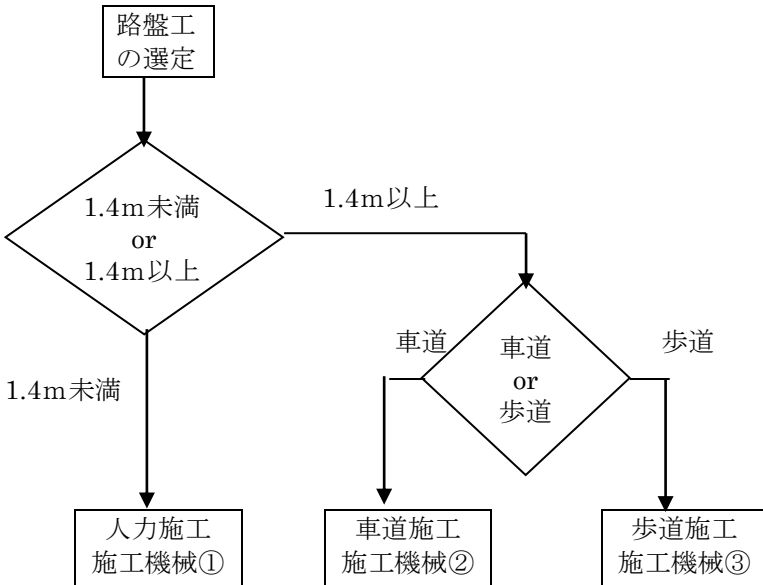
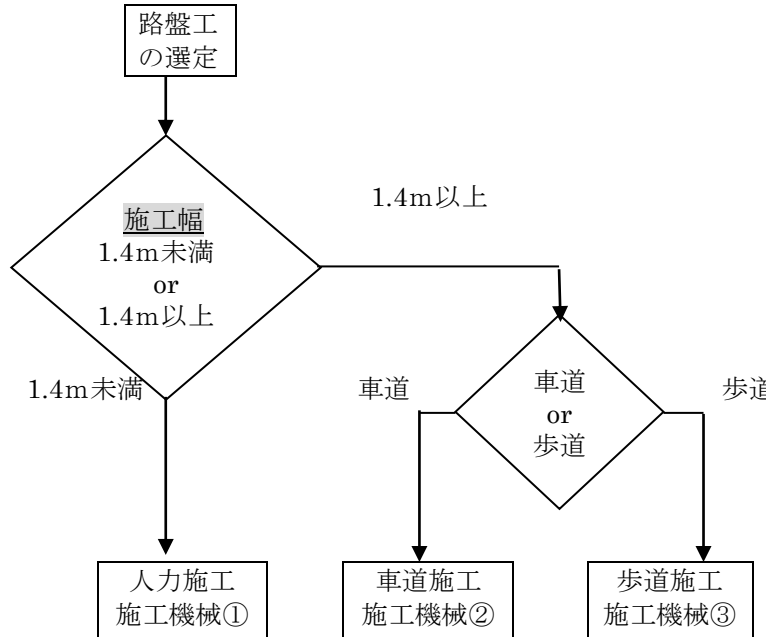
土木工事積算基準（平成 29 年 5 月）の一部修正その 4 新旧比較表

現 行（Ⅱ－4－2）	修 正	備考（内容）																																																					
イ．運転日数、供用日数 ア）排水期間中のポンプ運転日数及び供用日数は、工事の規模、現場の状況などを考慮して算出する。 イ）原則、運転日数は以下のとおりとする。 管工事（管保護、弁室類築造含む）：管布設完了までの期間とする。 構造物工事等：建築完了までの期間とする。 ウ）配管材料費等は諸雑費で計上する。（作業時排水の場合は、不稼働係数をかけない） 2．水替工（1） （1）機種の選定 機械・規格は次表を標準とするが、工期、揚程、現場の状況などから、次表により難しい場合は、現場条件に適応した機械、規格、台数を別途考慮することができる。 表2－1 機種の選定（ポンプ運転） <table><tr><th rowspan="2">機 械 名</th><th colspan="2">規 格</th><th rowspan="2">排 水 量 (m³／h)</th></tr><tr><th>口 径(mm)</th><th>電動機出力 (kW)</th></tr><tr><td>工 事 用 水 中 ポ ン プ</td><td>50</td><td>0.4</td><td>0 以上10以下</td></tr></table> （注）動力源は、発動発電機及び商用電源とし、工期や地理的状況等を総合的に考慮して定める。 （2）運転工歩掛 工事用水中ポンプの運転に要する労務歩掛は、次表を標準とする。 表2－2 ポンプ運転歩掛 (人／1箇所・日) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th colspan="2">作 業 時 排 水</th><th>常 時 排 水</th></tr><tr><th>商 用 電 源</th><th>発動発電機</th><th>商 用 電 源</th></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>0.06</td><td>0.13</td><td>0.06</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td colspan="3">0.07</td></tr></table> （注） 1．本歩掛は、ポンプ台数1～2台の運転労務歩掛を標準とする。なお、上表により難しい場合は別途考慮する。 2．普通作業員は、現場内でのポンプの移設および補助労務等を行うものとする。 3．労務単価は、時間外手当等を考慮しない。 （3）機 械 損 料 作業時排水の損料は、「建設機械等損料算定表（13欄）」で算出するものとし、常時排水については、次式により算出する。 運転1日当り機械損料＝(建設機械等損料算定表(9欄))×2+(建設機械等損料算定表(11欄))	機 械 名	規 格		排 水 量 (m³／h)	口 径(mm)	電動機出力 (kW)	工 事 用 水 中 ポ ン プ	50	0.4	0 以上10以下	名 称	作 業 時 排 水		常 時 排 水	商 用 電 源	発動発電機	商 用 電 源	特 殊 作 業 員	0.06	0.13	0.06	普 通 作 業 員	0.07			イ．運転日数、供用日数 ア）排水期間中のポンプ運転日数及び供用日数は、工事の規模、現場の状況などを考慮して算出する。 イ）原則、運転日数は以下のとおりとする。 管工事（管保護、弁室類築造含む）：管布設完了までの期間とする。 構造物工事等：建築完了までの期間とする。 ウ）配管材料費等は諸雑費で計上する。（作業時排水の場合は、不稼働係数をかけない） 2．水替工（1） （1）機種の選定 機械・規格は次表を標準とするが、工期、揚程、現場の状況などから、次表により難しい場合は、現場条件に適応した機械、規格、台数を別途考慮することができる。 表2－1 機種の選定（ポンプ運転） <table><tr><th rowspan="2">機 械 名</th><th colspan="2">規 格</th><th rowspan="2">揚程</th></tr><tr><th>口 径(mm)</th><th>電動機出力 (kW)</th></tr><tr><td rowspan="2">工 事 用 水 中 ポ ン プ</td><td>50</td><td>0.4</td><td>5 m</td></tr><tr><td>50</td><td>0.8</td><td>10m</td></tr></table> （注）動力源は、発動発電機及び商用電源とし、工期や地理的状況等を総合的に考慮して定める。 （2）運転工歩掛 工事用水中ポンプの運転に要する労務歩掛は、次表を標準とする。 表2－2 ポンプ運転歩掛 (人／1箇所・日) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th colspan="2">作 業 時 排 水</th><th>常 時 排 水</th></tr><tr><th>商 用 電 源</th><th>発動発電機</th><th>商 用 電 源</th></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>0.06</td><td>0.13</td><td>0.06</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td colspan="3">0.07</td></tr></table> （注） 1．本歩掛は、ポンプ台数1～2台の運転労務歩掛を標準とする。なお、上表により難しい場合は別途考慮する。 2．普通作業員は、現場内でのポンプの移設および補助労務等を行うものとする。 3．労務単価は、時間外手当等を考慮しない。 （3）機 械 損 料 作業時排水の損料は、「建設機械等損料算定表（13欄）」で算出するものとし、常時排水については、次式により算出する。 運転1日当り機械損料＝(建設機械等損料算定表(9欄))×2+(建設機械等損料算定表(11欄))	機 械 名	規 格		揚程	口 径(mm)	電動機出力 (kW)	工 事 用 水 中 ポ ン プ	50	0.4	5 m	50	0.8	10m	名 称	作 業 時 排 水		常 時 排 水	商 用 電 源	発動発電機	商 用 電 源	特 殊 作 業 員	0.06	0.13	0.06	普 通 作 業 員	0.07			歩掛の追加
機 械 名		規 格			排 水 量 (m³／h)																																																		
	口 径(mm)	電動機出力 (kW)																																																					
工 事 用 水 中 ポ ン プ	50	0.4	0 以上10以下																																																				
名 称	作 業 時 排 水		常 時 排 水																																																				
	商 用 電 源	発動発電機	商 用 電 源																																																				
特 殊 作 業 員	0.06	0.13	0.06																																																				
普 通 作 業 員	0.07																																																						
機 械 名	規 格		揚程																																																				
	口 径(mm)	電動機出力 (kW)																																																					
工 事 用 水 中 ポ ン プ	50	0.4	5 m																																																				
	50	0.8	10m																																																				
名 称	作 業 時 排 水		常 時 排 水																																																				
	商 用 電 源	発動発電機	商 用 電 源																																																				
特 殊 作 業 員	0.06	0.13	0.06																																																				
普 通 作 業 員	0.07																																																						

〇〇〇〇：追加・修正

⊖⊖⊖⊖：削除

土木工事積算基準（平成 29 年 5 月）の一部修正その 4 新旧比較表

現行（Ⅱ－6－1）	修正	備考（内容）
第6章 舗装工 第1．舗装切断工 「平成28年度(4月改正)国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅳ－3－③舗装版切断工」によるものとする。 第2．路盤工 「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅳ－1－①路盤工」によるものとする。 1．機種の選定 路盤工の機種選定にあたっては、表1－1を基準とするが現場条件により適した機種を選定することが出来る。 （1）路盤工の選定フローは、次のとおりとする。 	第6章 舗装工 第1．舗装切断工 「平成28年度(4月改正)国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅳ－3－③舗装版切断工」によるものとする。 第2．路盤工 「平成24年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅳ－1－①路盤工」によるものとする。 1．機種の選定 路盤工の機種選定にあたっては、表1－1を基準とするが現場条件により適した機種を選定することが出来る。 <u>不陸整正の機種選定にあたっては、表1－2を基準とするが現場条件により適した機種を選定することが出来る。なお、人力施工における施工機械の単価表は、表3－2を、施工幅が1.4m以上3.0m以下の機械施工における施工機械の単価表は、表3－3を標準とする。</u> （1）路盤工の選定フローは、次のとおりとする。 	歩掛の見直し 不陸整正についての文言追加 フロー図の修正

第 6 章 舗 装 工

第 1．舗装切断工

第 2．路 盤 工

1．機種を選定

歩掛の見直し

不陸整正についての文言追加

フロー図の修正

〇〇〇〇：追加・修正

土木工事積算基準（平成 29 年 5 月）の一部修正その 4 新旧比較表

⊖〇〇〇⊖：削除

現 行（Ⅱ－6－2）				修 正				備考（内容）																																											
（2） 施 工 機 械 表 1－1 路盤工使用機械 <table><tr><th>施工機械</th><th>施工区分</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th></tr><tr><td>施工機械①</td><td>人力施工</td><td>タ ン パ</td><td>60～80 kg</td></tr><tr><td rowspan="3">施工機械②</td><td rowspan="3">車道施工</td><td>モーターグレーダ</td><td>排出ガス対策型（第1次基準値）・3.1m</td></tr><tr><td>ロードローラ</td><td>排出ガス対策型（第1次基準値）・マカダム 10～12 t</td></tr><tr><td>タイヤローラ</td><td>排出ガス対策型（第1次基準値）・8～20 t</td></tr><tr><td rowspan="2">施工機械③</td><td rowspan="2">歩道施工</td><td>振 動 ロ ー ラ</td><td>排出ガス対策型（第1次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t</td></tr><tr><td>小型バックホウ</td><td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.11m³（平積 0.08m³）</td></tr></table>				施工機械	施工区分	機 械 名	規 格	施工機械①	人力施工	タ ン パ	60～80 kg	施工機械②	車道施工	モーターグレーダ	排出ガス対策型（第1次基準値）・3.1m	ロードローラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・マカダム 10～12 t	タイヤローラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・8～20 t	施工機械③	歩道施工	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t	小型バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.11m ³ （平積 0.08m ³ ）	（2） 施 工 機 械 表 1－1 路盤工使用機械 <table><tr><th>施工機械</th><th>施工区分</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th></tr><tr><td>施工機械①</td><td>人力施工</td><td>タ ン パ</td><td>60～80 kg</td></tr><tr><td rowspan="3">施工機械②</td><td rowspan="3">車道施工</td><td>モーターグレーダ</td><td>排出ガス対策型（第1次基準値）・3.1m</td></tr><tr><td>ロードローラ</td><td>排出ガス対策型（第1次基準値）・マカダム 10～12 t</td></tr><tr><td>タイヤローラ</td><td>排出ガス対策型（第1次基準値）・8～20 t</td></tr><tr><td rowspan="2">施工機械③</td><td rowspan="2">歩道施工</td><td>振 動 ロ ー ラ</td><td>排出ガス対策型（第1次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t</td></tr><tr><td>小型バックホウ</td><td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.11m³（平積 0.08m³）</td></tr></table>				施工機械	施工区分	機 械 名	規 格	施工機械①	人力施工	タ ン パ	60～80 kg	施工機械②	車道施工	モーターグレーダ	排出ガス対策型（第1次基準値）・3.1m	ロードローラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・マカダム 10～12 t	タイヤローラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・8～20 t	施工機械③	歩道施工	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t	小型バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.11m ³ （平積 0.08m ³ ）
				施工機械	施工区分	機 械 名	規 格																																												
施工機械①	人力施工	タ ン パ	60～80 kg																																																
施工機械②	車道施工	モーターグレーダ	排出ガス対策型（第1次基準値）・3.1m																																																
		ロードローラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・マカダム 10～12 t																																																
		タイヤローラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・8～20 t																																																
施工機械③	歩道施工	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t																																																
		小型バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.11m ³ （平積 0.08m ³ ）																																																
施工機械	施工区分	機 械 名	規 格																																																
施工機械①	人力施工	タ ン パ	60～80 kg																																																
施工機械②	車道施工	モーターグレーダ	排出ガス対策型（第1次基準値）・3.1m																																																
		ロードローラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・マカダム 10～12 t																																																
		タイヤローラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・8～20 t																																																
施工機械③	歩道施工	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第1次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t																																																
		小型バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.11m ³ （平積 0.08m ³ ）																																																
				（3） 不陸整正の選定フローは、次のとおりとする。 <pre>graph TD; A[不陸整正の選定] --> B{1.4m未満
or
1.4m以上}; B -- 1.4m未満 --> C[人力施工
施工機械①]; B -- 1.4m以上 --> D{施工幅
3.0m以下
or
3.0m超}; D -- 3.0m以下 --> E[機械施工
施工機械②]; D -- 3.0m超 --> F[機械施工
施工機械③];</pre> ※街渠施工における不陸整正の施工は、施工機械③を適用する。				適用の見直し 不陸整正フロー図の追加																																											

〇〇〇〇：追加・修正

土木工事積算基準（平成 29 年 5 月）の一部修正その 4 新旧比較表

⊖⊖⊖⊖：削除

現行（Ⅱ－6－2）	修 正	備考（内容）																																																																																				
2. 人力施工歩掛 車道・歩道・路肩部等で機械施工が困難な場所における路盤工の施工に適用する。 なお、一層仕上り厚さは15cmまでを標準とする。 （1）編 成 人 員 路盤工の人力施工における編成人員は、次表を標準とする。 表 2－1 編 成 人 員 （1 日・1 層当り） <table><tr><th>職 種 名</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2</td></tr></table> （2）使 用 機 械 人力施工の締固めに使用する機械は、次表を標準とする。 表 2－2 使 用 機 械 （1 日・1 層当り） <table><tr><th>施 工 幅</th><th>機 種 名</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>1.4m</td><td>タンパ</td><td>60～80kg</td><td>台</td><td>1</td></tr></table> （3）日 当 り 施 工 量 人力施工による不陸整正作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表 2－3 日 当 り 施 工 量 （1 日・1 層当り） <table><tr><th>施 工 幅</th><th>作 業 名</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>備考</th></tr><tr><td>－</td><td>敷 な ら し 作 業</td><td>m²</td><td>70</td><td>D 1</td></tr><tr><td>1.4m未満</td><td>締 固 め 作 業</td><td>〃</td><td>120</td><td>D 2</td></tr></table> （注）10m程度の現場内小運搬を含む。	職 種 名	単 位	数 量	普 通 作 業 員	人	2	施 工 幅	機 種 名	規 格	単 位	数 量	1.4m	タンパ	60～80kg	台	1	施 工 幅	作 業 名	単 位	数 量	備考	－	敷 な ら し 作 業	m ²	70	D 1	1.4m未満	締 固 め 作 業	〃	120	D 2	（4）施 工 機 械 表 1－2 不陸整正使用機械 <table><tr><th>施工機械</th><th>施工区分</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th></tr><tr><td>施工機械①</td><td>人力施工</td><td>タ ン パ</td><td>60～80 kg</td></tr><tr><td>施工機械②</td><td>機械施工</td><td>振 動 ロ ー ラ</td><td>排出ガス対策型（第 1 次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t</td></tr><tr><td rowspan="3">施工機械③</td><td rowspan="3">機械施工</td><td>モータグレーダ</td><td>排出ガス対策型（第 1 次基準値）・3.1m</td></tr><tr><td>ロードローラ</td><td>排出ガス対策型（第 1 次基準値）・マカダム 10～12 t</td></tr><tr><td>タイヤローラ</td><td>排出ガス対策型（第 1 次基準値）・8～20 t</td></tr></table> 2. 人力施工歩掛 車道・歩道・路肩部等で機械施工が困難な場所における路盤工及び不陸整正の施工に適用する。 なお、一層仕上り厚さは15cmまでを標準とする。 （1）編 成 人 員 路盤工の人力施工における編成人員は、次表を標準とする。 表 2－1 編 成 人 員 （1 日・1 層当り） <table><tr><th>職 種 名</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>備考</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2</td><td>路盤工のみ</td></tr></table> （2）使 用 機 械 人力施工の締固めに使用する機械は、次表を標準とする。 表 2－2 使 用 機 械 （1 日・1 層当り） <table><tr><th>施 工 幅</th><th>機 種 名</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th></tr><tr><td>1.4m</td><td>タンパ</td><td>60～80kg</td><td>台</td><td>1</td></tr></table> （3）日 当 り 施 工 量 人力施工による不陸整正作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表 2－3 日 当 り 施 工 量 （1 日・1 層当り） <table><tr><th>施 工 幅</th><th>作 業 名</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>備考</th></tr><tr><td>－</td><td>敷 な ら し 作 業</td><td>m²</td><td>70</td><td>D 1</td></tr><tr><td>1.4m未満</td><td>締 固 め 作 業</td><td>〃</td><td>120</td><td>D 2</td></tr></table> （注）10m程度の現場内小運搬を含む。	施工機械	施工区分	機 械 名	規 格	施工機械①	人力施工	タ ン パ	60～80 kg	施工機械②	機械施工	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t	施工機械③	機械施工	モータグレーダ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・3.1m	ロードローラ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・マカダム 10～12 t	タイヤローラ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・8～20 t	職 種 名	単 位	数 量	備考	普 通 作 業 員	人	2	路盤工のみ	施 工 幅	機 種 名	規 格	単 位	数 量	1.4m	タンパ	60～80kg	台	1	施 工 幅	作 業 名	単 位	数 量	備考	－	敷 な ら し 作 業	m ²	70	D 1	1.4m未満	締 固 め 作 業	〃	120	D 2	不陸整正の使用機械の項目の追加 文言の追加 備考欄の追加 文言の整理
職 種 名	単 位	数 量																																																																																				
普 通 作 業 員	人	2																																																																																				
施 工 幅	機 種 名	規 格	単 位	数 量																																																																																		
1.4m	タンパ	60～80kg	台	1																																																																																		
施 工 幅	作 業 名	単 位	数 量	備考																																																																																		
－	敷 な ら し 作 業	m ²	70	D 1																																																																																		
1.4m未満	締 固 め 作 業	〃	120	D 2																																																																																		
施工機械	施工区分	機 械 名	規 格																																																																																			
施工機械①	人力施工	タ ン パ	60～80 kg																																																																																			
施工機械②	機械施工	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t																																																																																			
施工機械③	機械施工	モータグレーダ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・3.1m																																																																																			
		ロードローラ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・マカダム 10～12 t																																																																																			
		タイヤローラ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・8～20 t																																																																																			
職 種 名	単 位	数 量	備考																																																																																			
普 通 作 業 員	人	2	路盤工のみ																																																																																			
施 工 幅	機 種 名	規 格	単 位	数 量																																																																																		
1.4m	タンパ	60～80kg	台	1																																																																																		
施 工 幅	作 業 名	単 位	数 量	備考																																																																																		
－	敷 な ら し 作 業	m ²	70	D 1																																																																																		
1.4m未満	締 固 め 作 業	〃	120	D 2																																																																																		

〇〇〇〇：追加・修正

土木工事積算基準（平成 29 年 5 月）の一部修正その 4 新旧比較表

⊖⊖⊖⊖：削除

現 行（Ⅱ－6－2）					修 正					備考（内容）
3. 単 価 表										不陸整正の歩掛追加 見出しの整理
（1） 路盤工（施工幅1.4m未満）人力施工100㎡・1層当り単価表										
名 称		規 格	単位	数 量		摘 要				
普 通 作 業 員			人	2×100／D 1		表 2－1 表 2－3				
路 盤 材			m³							
タ ン パ 運 転		60～80kg	日	100／D 2		表 2－2 表 2－3				
計										
（注）D 1：敷きならし作業の日当り施工量 D 2：締め固め作業の日当り作業量										
（2） 機械運転単価表										
人力施工										
機 械 名		規 格	適用単価表	指 定 事 項						
タ ン パ		60～80kg	機－31	運転労務数量 → 1.0 燃料消費量 → 5 機械賃料数量 → 1.61 主 燃 料 → ガソリン						

3. 単 価 表					不陸整正の歩掛追加 見出しの整理			
ア. 路盤工（施工幅1.4m未満）人力施工100㎡・1層当り単価表								
表 3－1								
名 称		規 格	単位	数 量		摘 要		
普 通 作 業 員			人	2×100／D 1		表 2－1 表 2－3		
路 盤 材			m³					
タ ン パ 運 転		60～80kg	日	100／D 2		表 2－2 表 2－3		
計								
（注）D 1,D 2：日当り施工量								
イ. 不陸整正（施工幅1.4m未満）人力施工100㎡・1層当り								
表 3－2								
名 称		規 格	単位	数 量		摘 要		
タ ン パ 運 転		60～80kg	日	100／D 2				
計								
（注）D 2：日当り施工量								
ウ. 不陸整正（施工幅1.4m以上3.0m以下）機械施工100㎡・1層当り								
表 3－3								
名 称		規 格	単位	数 量		摘 要		
振 動 ロ ー ラ 運 転		排出ガス対策型（第1次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t	日	100／D 3				
計								
（注）D 3：日当り施工量（268㎡）								
エ.機械運転単価表								
表 3－4 人力施工								
機 械 名		規 格	適用 単価表	指 定 事 項				
タ ン パ		60～80kg	機－ 31	運転労務数量 → 1.0 燃料消費量 → 5 機械賃料数量 → 1.61 主 燃 料 → ガソリン				

〇〇〇〇：追加・修正

土木工事積算基準（平成 29 年 5 月）の一部修正その 4 新旧比較表

⊖⊖⊖⊖：削除

現行（Ⅱ－6－2）	修 正	備考（内容）								
	表 3－5 機械施工 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用 単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>振 動 ロ ー ラ</td><td>排出ガス対策型（第 1 次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t</td><td>機－ 28</td><td>運転労務数量 → 1.0 燃 料 消 費 量 → 11 機械賃料数量 → 1.52 主 燃 料 → 軽油</td></tr></table>	機 械 名	規 格	適用 単価表	指 定 事 項	振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t	機－ 28	運転労務数量 → 1.0 燃 料 消 費 量 → 11 機械賃料数量 → 1.52 主 燃 料 → 軽油	歩掛の追加
機 械 名	規 格	適用 単価表	指 定 事 項							
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型（第 1 次基準値）・搭乗式・コンバインド型 3～4 t	機－ 28	運転労務数量 → 1.0 燃 料 消 費 量 → 11 機械賃料数量 → 1.52 主 燃 料 → 軽油							